

医工連携イノベーション推進事業（開発・事業化事業）
事後評価結果

1. 補助事業課題名 : ワイヤレス植込み型ブレインマシンインターフェース
システムの開発・事業化
2. 補助事業代表者氏名（所属） : 中村 仁（株式会社 JiMED）

<評価コメント>

閉じ込め状態となっても意思伝達を可能とする、ワイヤレス植込み型ブレインマシンインターフェースの開発・事業化を目指している。当初計画に対し、種々の日程遅延等はあるものの、事業基盤の整備を進め、米国でのアクセラレータープログラムに参加するなど、海外展開に向けての足掛かりとする可能性を確保した。研究に留まらず医療機器として実用化されることを期待する。

以上